

財政指数(平成29年度決算)

経常収支比率		92.9(-)
健全化判断比率	実質赤字比率	—
	連結実質赤字比率	—
	実質公債費比率	8.6(8.5)
	将来負担比率	8.7(30.3)
資金不足比率		—

※表中の( ) 数値は、秋田県内12町村の平均です。  
 ※表中の「-」は、赤字、資金不足がないことを示しています。

【用語の解説】

【経常収支比率】

経常収支比率は、地方税や地方交付税、地方譲与税を中心とする一般財源収入の中で、人件費や扶助費、公債費等の義務的に支払わなければならない経費がどの程度の割合を占めているかをしめす指標で、この数値が高くなるほど財政が硬直化していることとなります。町村は75%以下が望ましいとされています。

【実質公債費比率】

実質公債費比率は、公債費(借入返済金)の財政負担の程度を示す指標です。この比率が18%以上になると地方債の発行に県知事の許可が必要となり、25%以上になると一部の地方債の発行が制限されます。

【将来負担比率】

将来、一般会計等(普通会計)で負担することが見込まれる金額(地方債の残高、退職手当の負担見込など)の標準財政規模(※)に対する割合を示す比率です。350%を下回っていれば適正といえます。

※標準財政規模…自治体が標準的な行政サービスを提供するために必要な一般財源の規模をあらわしたもので、町税や普通交付税などが主なものです。

健全化判断比率・資金不足比率

「地方自治体の財政の健全化に関する法律」において、地方自治体の財政の健全性に関する比率を公表することとなっています。平成29年度決算に基づく八峰町の健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれも国が示す財政健全域の範囲内にあります。

基金残高(平成29年度末)

基金名	(単位:千円)
財政調整基金	30億7,999万1千円
減債基金	5,137万3千円
合併町村振興基金	10億6,130万5千円
地域福祉基金	1億1,320万5千円
奨学資金貸付基金	2億432万7千円
雇用創出基金	2,707万1千円
観光振興基金	2,145万7千円
ふるさと八峰応援基金	1,705万1千円
高額療養費貸付基金	335万5千円
高額介護サービス費等資金貸付基金	282万1千円
自然再生基金	403万5千円
国民健康保険事業基金	6,000万7千円
介護給付費準備基金	2,426万1千円
簡易水道基金	2,305万3千円
合計	46億9,331万2千円

町債残高(平成29年度末)

会計種別	(単位:千円)
一般会計	77億766万2千円
簡易水道特別会計	18億7,072万4千円
公共下水道事業特別会計	14億8,751万6千円
農業集落排水事業特別会計	4億7,805万1千円
漁業集落排水事業特別会計	2億1,992万9千円
合併処理浄化槽事業特別会計	666万6千円
合計	117億7,054万8千円

平成29年度末における八峰町の借入金(町債)の残高です。借入金は、将来にわたって計画的に返済していきます。

# 平成29年度 八峰町の財政状況についてお知らせします

平成29年度決算は対前年度比、歳入で51百万円増(0.8%)、歳出で178百万円増(2.8%)となっています。これは、菌床しいたけホダ生産・栽培研修施設建設事業により歳入では県補助金及び起債、歳出では建設事業費が大幅な増となったことが主な要因となっています。歳入歳出の主な増減の要因は以下のとおりです。

歳入の都道府県支出金は、空家利活用推進事業費補助金6百万円や秋田県水と緑の森づくり税補助金4百万円が減となりましたが、秋田県市町村未来づくり交付金136百万円が増となり、全体で157百万円(38.4%)の増となりました。起債は、減となったものもありましたが菌床しいたけホダ生産・栽培研修施設建設事業329百万円、遊休施設除却事業23百万円の増となり、全体では228百万円(42.3%)の増となりました。

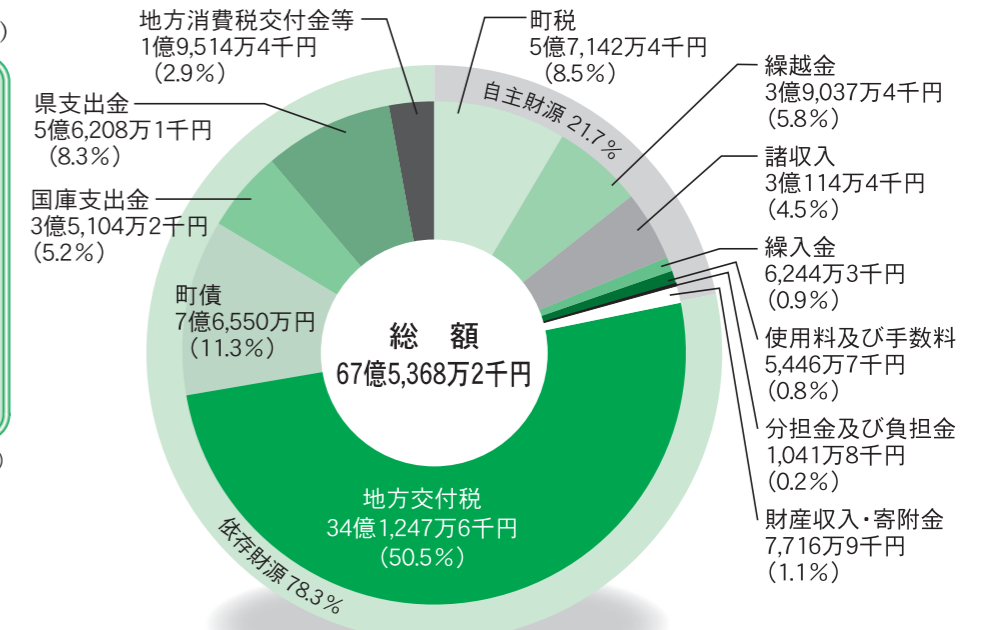
歳出は投資的経費で、JAしいたけパックセンター改修工事費補助金50百万円や温泉開発事業34百万円の減となりましたが、菌床しいたけホダ生産・栽培研修施設建設事業491百万円の増となり、全体では、410百万円(64.7%)と、大幅な増となりました。

【決算収支の状況】(千円)

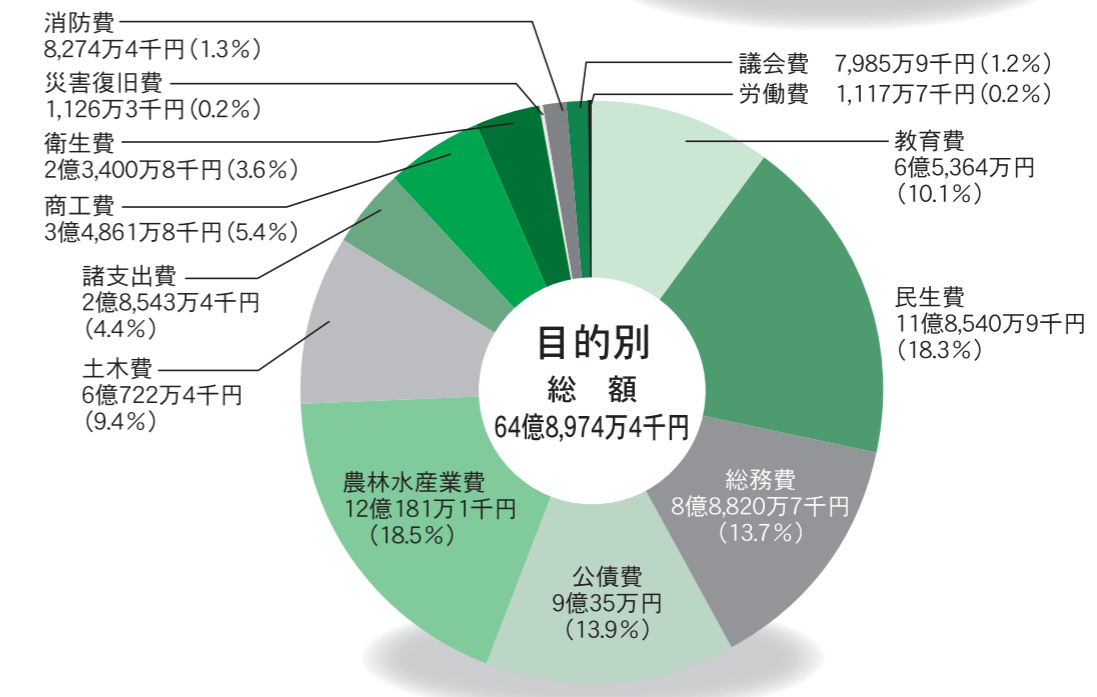
歳入総額	……67億5,368万2千円①
歳出総額	……64億8,974万4千円②
差引(①-②)	……2億6,393万8千円③
翌年度に繰り越すべき財源	……3,144万6千円④
実質収支(③-④)	……2億3,249万2千円⑤

※実質収支：実質的な翌年度(平成30年度)への繰越金です。

■一般会計(歳入)



■一般会計(歳出)



特別会計の決算収支

平成29年度において八峰町には10特別会計がりましたが、いずれの会計も黒字決算となりました。

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業勘定特別会計	12億3,193万2千円	11億9,796万8千円	3,396万4千円
介護保険事業勘定特別会計	12億7,332万8千円	12億3,213万4千円	4,119万4千円
後期高齢者医療特別会計	8,688万8千円	8,670万円	18万8千円
沢目財産区特別会計	3,168万8千円	2,003万7千円	1,165万1千円
町営簡易水道事業特別会計	2億7,259万9千円	2億6,311万7千円	948万2千円
公共下水道事業特別会計	3億4,674万2千円	3億1,309万1千円	3,365万1千円
農業集落排水事業特別会計	7,374万1千円	6,716万1千円	658万円
漁業集落排水事業特別会計	5,928万4千円	5,392万4千円	536万円
合併処理浄化槽事業特別会計	382万1千円	312万円	70万1千円
町営診療所特別会計	7,392万2千円	6,571万5千円	820万7千円
合計	34億5,394万5千円	33億296万7千円	1億5,097万8千円